

平成 30 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	17	学校名	県立水戸第二高等学校				課程	全日制				学校長名	生駒 忠夫					
副校長名	沼田 理津子				教頭名	小沼 浩幸				事務室長名	所 友子							
教職員数	教諭	54	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	3	実習教諭	1	事務職員	4	技術職員等	4	ALT	1	計	73
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数						
	普通科	0	320	0	318	0	316	0	0	0	954	24						

2 目指す学校像

豊かな人間性、積極的な実践力、合理的で公正な判断のできる叡智、たくましく生きるための健康や体力を備え、平和な国家・社会の進展に貢献できる品位と教養ある人材の育成を目指す学校

- 1 生徒ひとりひとりの学力を伸ばし、進路希望実現を図る学校
- 2 特別活動や各種部活動が盛んな活力ある学校
- 3 生徒・保護者・地域から信頼される魅力ある学校
- 4 社会規範を身に付け、広く社会に貢献できる良識ある指導者を育成する学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	○家庭での学習時間が十分に確保できていない生徒もいる。 ○自学自習の定着を図るために、考査前の自学時間の設定や集中学習会を実施している。	○課題の提出等、きめ細かな指導や教科指導を行い、自学する環境を整えることが必要である。 ○『進路ノート』等を用いて、計画性を持った学習活動に留意しながら主体的に取り組む姿勢を身につけさせることが必要である。
進路指導	○平成 29 年度卒業生の国公立大学合格者は 107 名であった。全国規模での国公立大学の受験に特徴がある。東北大学、お茶の水女子大学、筑波大学や早稲田大学、上智大学などの難関大学へも数多く合格することができた。	○センター試験や二次試験等に対応できる応用力・記述力をさらに養う取り組みが必要である。 ○受験環境の変化を的確に捉え、本校生徒に最もふさわしい教育課程となるよう絶えず見直す必要がある。
生徒指導	○平成 29 年度のスマホ家庭のルールづくり運動において、家庭のルールを守っている 1 年生の割合が 54%であった（2 年生 91%）。また、ネット上のみのつきあいの人と情報のやりとりをしたことがある生徒の割合が 25%であった。	○ルールを守る意識の低下がうかがえる。ルールを守ることやルールの見直しを家庭で話し合う必要がある。 ○生命の危険にさらされる事件や自撮り被害の急増が問題となっている。ネットで知り合った人を信用しない、直接会わないなど指導していく。
特別活動等	○80%を超える生徒が部活動に参加している。平成 29 年度は 2 つの運動部が全国大会に出場し、県高校総合体育大会女子の部で県立高校最上位の総合第 3 位となった。文化部は 6 つの部が全国大会に参加した。	○部活動の充実とともに、学習時間を確保させる必要性がある。

別紙様式 1 (高)

4 中期的目標

<p>1 生徒の進路希望の実現を図る教科指導の充実とキャリア教育の構築</p> <p>2 自主的・能動的な学習習慣の確立</p> <p>3 理数教育の推進～Ⅲ期目指定校(平成 28 年～32 年)としての SSH 事業の充実</p> <p>4 国際理解教育の推進</p> <p>5 特別活動や部活動への積極的な参加</p> <p>6 規範意識の高揚と自律的で責任ある生活習慣の確立</p> <p>7 施設・設備等の教育環境の充実</p> <p>8 積極的な広報活動の実施</p>

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 生徒の進路希望の実現を図る教科指導の充実とキャリア教育の構築	<p>① 授業法の校内研修や公開授業参観週間を充実させ、教科指導力の向上を図る。</p> <p>② 進路講演会、キャリアガイダンス、大学模擬授業等の進路行事を通して、学習意欲や進路に対する意識を高める。</p> <p>③ 個別面談を通して生徒理解を深めるとともに、早期における志望大学の決定を促す。</p> <p>④ 国公立大学現役合格 120 名以上、難関大学への合格者数増加を達成するため、個に応じたきめ細かな学習指導や進路指導を行う。</p>
2 自主的・能動的な学習習慣の確立	<p>⑤ シラバスを活用した授業中心の学習形態と自学自習の姿勢を指導する。</p> <p>⑥ 「進路ノート」を活用し、計画的な学習の在り方や学習時間の確保を指導する。</p> <p>⑦ 学習室や図書室の利用を促進する。</p>
3 理数教育の推進 ～Ⅲ期目指定校としての SSH 事業の充実	<p>⑧ SSH 講演会、自然科学体験学習、学校設定科目を通して科学的思考力を育成する。</p> <p>⑨ 各種発表会や海外セミナーを通して、プレゼンテーション力や英語活用力の向上を図る。</p> <p>⑩ 地域の科学教育の拠点校としての役割を担う</p>
4 国際理解教育の推進	<p>⑪ 国際理解講演会等を通して、国際情勢や世界で働く意義の理解を図る。</p> <p>⑫ 日本の文化や歴史への理解や体験を通して、多様な文化を受容できる力を育成する。</p> <p>⑬ 積極的に自分の意見を発表できるプレゼンテーション力や英語力を育成する。</p>
5 特別活動や部活動への積極的な参加	<p>⑭ 生徒会活動や部活動などへの積極的な参加を促し、活力ある学校づくりを推進する。</p> <p>⑮ 各種学校行事、委員会活動を通して、豊かな人間性やリーダーシップを培う。</p>
6 規範意識の高揚と自律的で責任ある生活習慣の確立	⑯ 服装指導や生活指導を通して、水戸二高生として自覚と責任をもった行動ができる生徒を育成する。
7 施設・設備等の教育環境の充実	⑰ 校舎内外の清掃と教室の整理・整頓の徹底を図り、快適な学習環境を整える。
8 積極的な広報活動の実施	<p>⑱ 本校の教育目標や教育活動について、保護者および地域の方々や中学校への積極的な広報に努める。</p> <p>⑲ 常に最新の情報を掲載するなどHPの充実と、積極的な情報発信に努める。</p>

別紙様式 1 (高)